

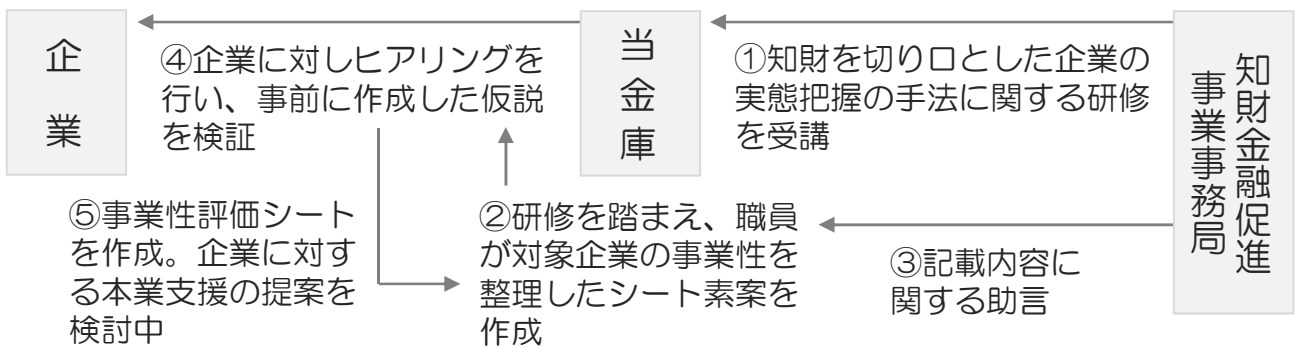
【組織概要】

創 業：昭和26年6月8日 本 店：長野県伊那市荒井3483番地1
 店舗数：22店舗 貸出金：1,270億97百万円 (平成30年3月31日現在)

伴走型支援での取り組み

企業の潜在性・将来性を計るため、知的財産に着目した事業性の評価を実施。知財から判断される価値をもとに、企業に対する成長戦略の提案、設備投資の融資などの金融支援の具体化を目指し取り組みました。

- 4支店 計8社について、知財を切り口とした企業の実態把握を実施
- 事業を構成する技術的な強みや特徴の理解を深めるとともに、今後の事業展開における課題を把握（本取組を通じて、各社の「事業性評価シート」を作成）



取組の成果：A社の事例

知的財産に着目した事業性の把握を通じて、「知財や技術」と「事業」との関係性の理解を深めることができました。また、当社の強み・課題の理解を通じて、金融機関による支援が期待される領域を具体化することができました。

これまでの理解

- ✓ 研究開発に力を入れている企業
- ✓ 得意とする技術は、市場規模の拡大が見込まれる業種に対応

今回の取組を通じて把握できたこと

- ✓ 【強み・優位性】顧客企業等からの同社の得意技術の評価、研究開発やノウハウ管理などに関する経営者の意向・姿勢
- ✓ 【課題】技術的な強みを収益に転換する経営ビジョンやビジネスモデルが十分に確立できていない

今後の支援策

- ✓ 強みを活かすとともに課題の解決を目指す経営計画を、外部専門家と連携し策定
- ✓ 上記のプランに対応した金融支援、知財や営業秘密などの管理体制の構築を支援

組織展開：モデル店舗から全店へ

当金庫では地域密着型金融の深化を図るため、平成28年4月より『課題解決支援プロジェクト』を開始。営業地域の個人事業主を含めた全事業先を訪問し、経営者から経営課題やニーズを聴き取ることで、事業先の実態把握及び解決の支援に取り組んできました。

今回の取組の成果も、全店舗の営業担当者が集まる会議で共有。今後、モデル店舗の成果を全店に周知し、知財を切り口とした取引先企業の事業診断の取組を組織的に展開していきます。

営業担当者会議での
成果報告の様子(2019.2)

